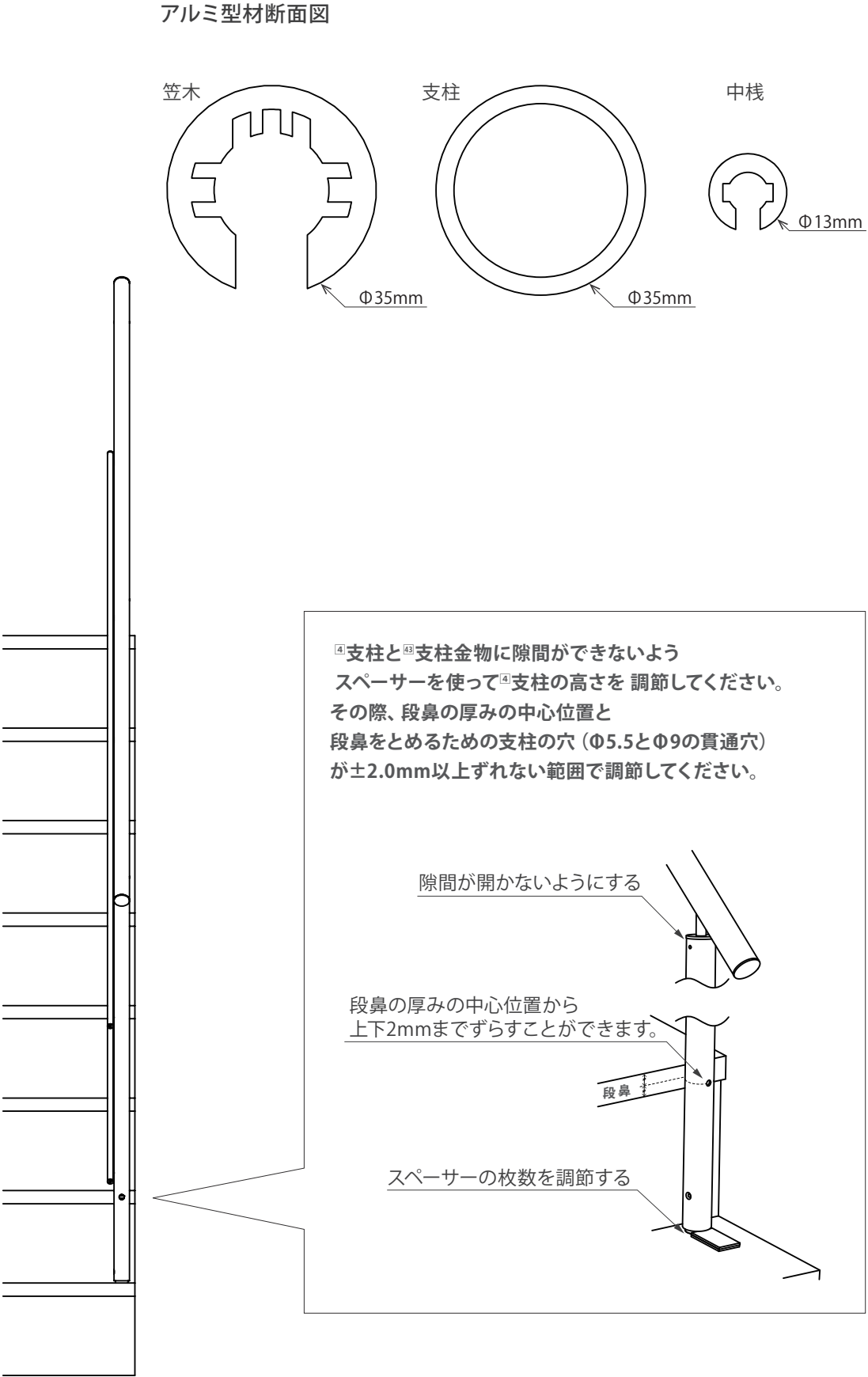
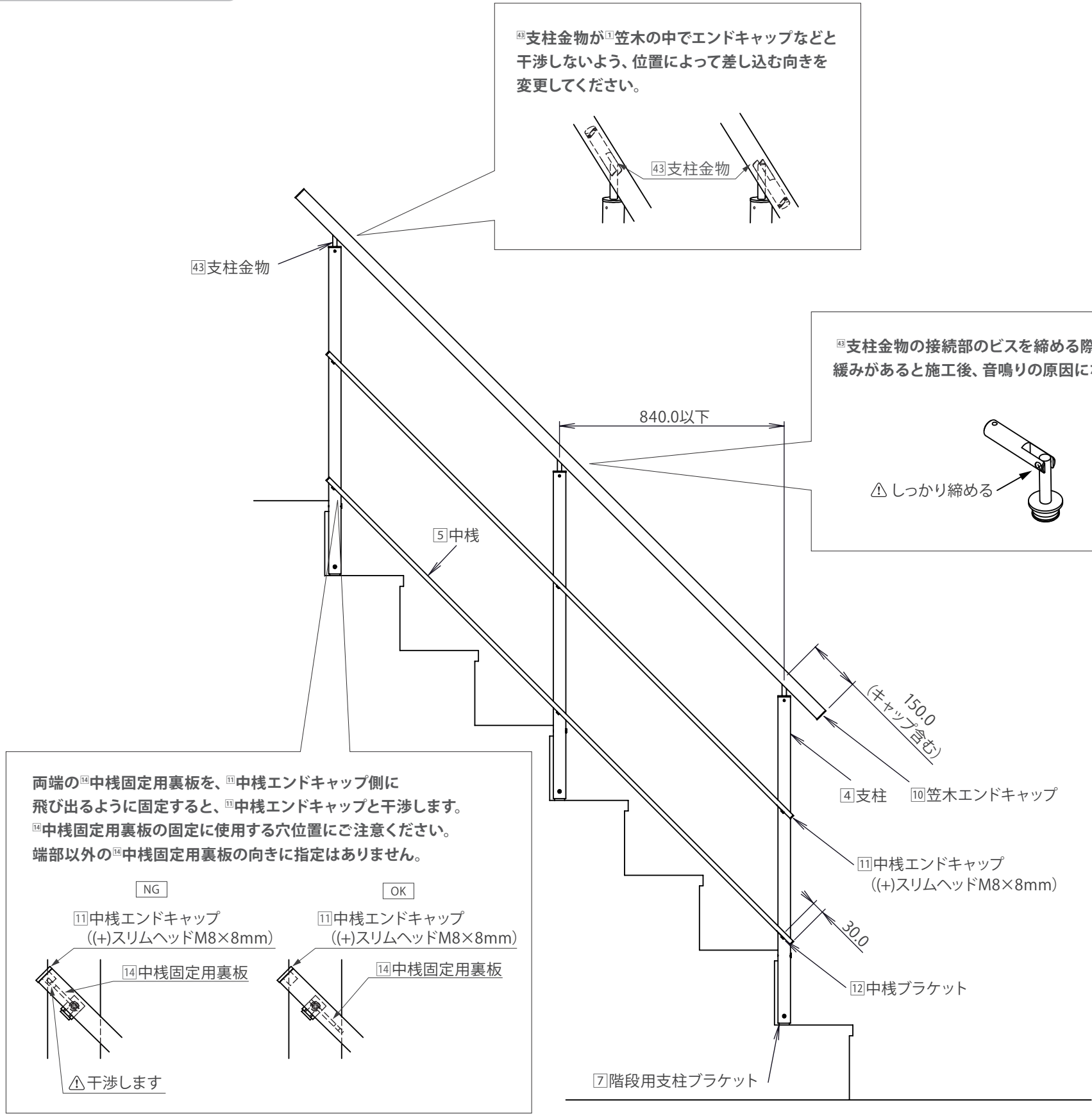


基本納まりと施工のポイント



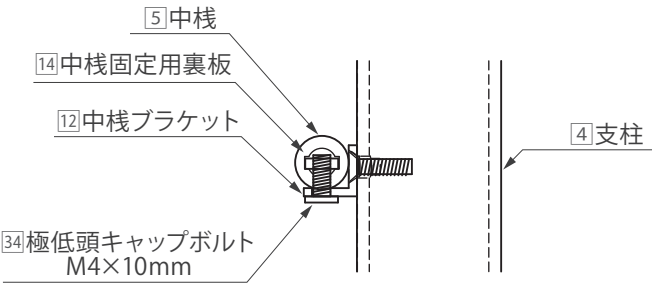
# 中棧の取付

このページは[A][B]共通の中棧の取付説明書です。  
[A][B]の工程内の「中棧の取付」はこのページをご参照ください。

※本書はAluteの取付を行う際の基本的な説明書です。  
現場の状況によっては組立方法が変わる場合があります。

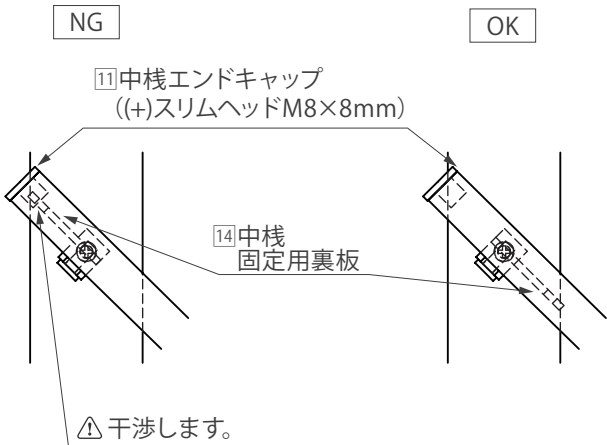
## ● 中棧基本納まり

中棧取付の大まかな納まりと注意点を確認してから  
以降の説明をご覧くださいとスムーズです。



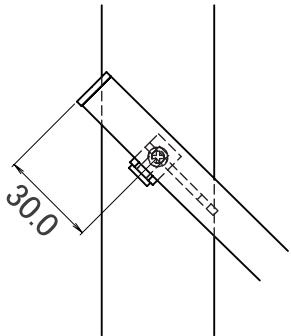
## ● 中棧施工の注意点 ①

両端の<sup>⑭</sup>中棧固定用裏板を、  
<sup>⑪</sup>中棧エンドキャップ側に飛び出るように固定すると、  
<sup>⑪</sup>中棧エンドキャップと干渉します。  
<sup>⑭</sup>中棧固定用裏板の固定に使用する穴位置にご注意ください。  
端部以外の<sup>⑭</sup>中棧固定用裏板の向きに指定はありません。



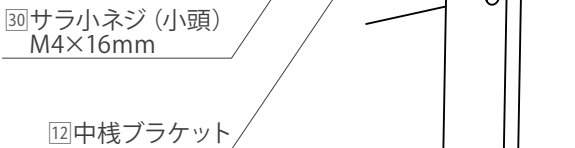
## ● 中棧施工の注意点 ②

標準設計では、<sup>⑤</sup>中棧の端部が、<sup>⑫</sup>中棧ブラケットの芯より  
30mm出る設計となっています。



## 1. 中棧ブラケットの取付

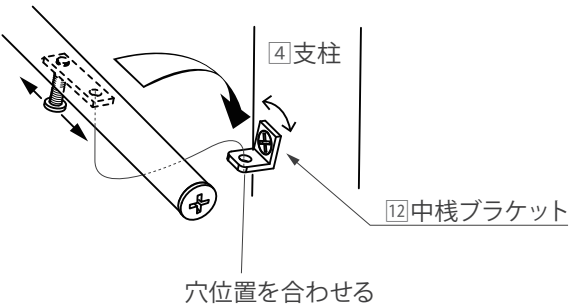
<sup>⑫</sup>中棧ブラケットを、  
<sup>③②</sup>サラ小ネジ（小頭）M4×16mmで  
固定してください。



⚠ インパクトドライバーは  
使用しないでください。

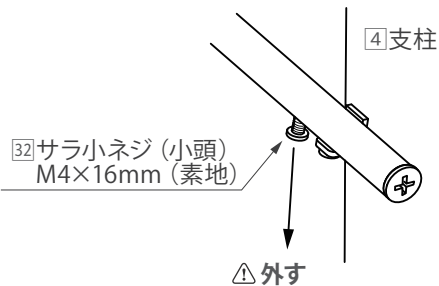
## 3. 裏板の位置調整

<sup>⑤</sup>中棧を、<sup>⑫</sup>中棧ブラケットに乗せ、  
<sup>⑭</sup>中棧固定用裏板と<sup>⑫</sup>中棧ブラケットの穴位置を  
合わせてください。  
その際、<sup>⑫</sup>中棧ブラケットの角度を中棧に合わせ、  
しっかり固定しておしてください。



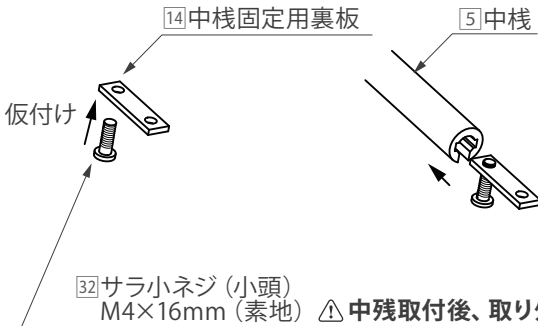
## 5. ネジの取外し

仮付けしていた<sup>③②</sup>サラ小ネジ（小頭）M4×16mm（素地）を  
全て外してください。



## 2. 裏板の準備

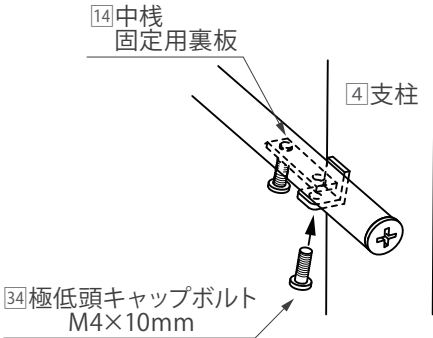
<sup>⑭</sup>中棧固定用裏板に<sup>③②</sup>サラ小ネジ(小頭)M4×16mm(素地)を  
仮付けし、<sup>⑤</sup>中棧を取り付ける<sup>④</sup>支柱の本数と  
同じ数量を<sup>⑤</sup>中棧に差し込んでください。



## 4. 裏板の固定

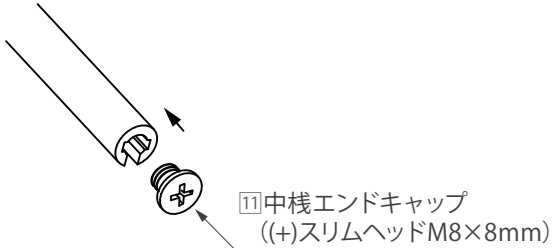
<sup>③④</sup>極低頭キャップボルトM4×10mmで  
<sup>⑫</sup>中棧ブラケットと<sup>⑭</sup>中棧固定用裏板を固定してください。

⚠ <sup>⑤</sup>中棧を固定する際の順序  
最上段→最下段→中間の順で取り付けてください。



## 6. 中棧エンドキャップの取付

<sup>⑤</sup>中棧の両端に、<sup>⑪</sup>中棧エンドキャップ  
((+)スリムヘッドM8×8mm)を取り付けてください。



A

支柱に段鼻穴加工済み

Alute

室内手摺【階段用】

取付説明書

重要

[A]は支柱に段鼻穴加工がされた状態で納品されている場合の取付説明書です。  
支柱に下記の穴加工がない場合は[B]の取付説明書をご覧ください。

御覧いただく取付説明書は、梱包外装に添付されています「出荷案内」の品番からも、ご判別いただけます。

A	B
の説明書を使用	の説明書を使用
ALU10KA-BK	ALU10K-BK
ALU103KA-BK	ALU103K-BK
ALU10PKA-BK	ALU10PK-BK
ALU103PKA-BK	ALU103PK-BK

このたびは、室内用手摺Aluteをお買い上げいただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの取付説明書をよくお読みになり、  
正しく適切な方法でご使用ください。

※本書はAluteの取付を行う際の基本的な説明書です。  
現場の状況によっては組立方法が変わる場合があります。

⚠ 注意事項

■施工上のご注意

- ※外部用手摺として使用しないでください。
- ※吹抜用の手摺は【吹抜用】の説明書をご参照ください。
- ※組み立て部品・ネジは当社指定品を使用してください。
- ※取付は必ず専門業者で行ってください。
- ※アルミの素地などが見える箇所はタッチペンで補修してください。

■使用上のご注意

- ※製品の破損やケガの原因となりますので、以下の行為は絶対にしないでください。
- ・手摺にロープ等をかけて、重いものを運搬する。
- ・手摺以外の用途に使用する。
- ・横棧や手摺の上に乗ったり、身を乗り出したりする。
- ・横棧や手摺にぶらさがる。
- ・当社指定の附属品以外のものを取り付ける。
- ・分解、改造を行う。

🔧 必要工具（ご用意願います）

- ・プラスドライバー ・インパクトドライバー
- ・電動ドリル ・アルミ用チップソー（部材を切断する場合）

🔧 使用するビットとドリル（ご用意願います）

- ・プラスビット 狭い隙間の作業があるため、長いものや、曲がるタイプのものがあると作業がスムーズです。
- ・六角ソケットビット 六角対辺10.0mm
- ・木用ドリル Φ4.2mm Φ3.5mm

✔ 使用レンチサイズ（付属しています）

ビス種類		六角レンチサイズ
極低頭 六角穴付きボルト	M4	2mm
	M5	3mm
ホーローセット	M4	2mm
	M5	2.5mm

A

支柱に段鼻穴加工済み

morita

森田アルミ工業株式会社 | 599-0201 大阪府阪南市尾崎町530-1  
TEL 072-480-1400 | https://www.moritaalumi.co.jp

1. 支柱ブラケットの取付

① 踏み板にΦ4.2×深さ25mmの下穴を開けてください。

② <sup>⑦</sup>階段用支柱ブラケットを、<sup>④⑩</sup>コーチボルトΦ6×30mmと<sup>⑤⑦</sup>ワッシャーΦ6用、<sup>⑤⑧</sup>スプリングワッシャーΦ6用で踏板に固定してください。

階段の端から  
30mm以上

段鼻から  
17.5mm

<sup>④⑩</sup>コーチボルトΦ6×30mm  
<sup>⑤⑧</sup>スプリングワッシャーΦ6用  
<sup>⑤⑦</sup>ワッシャーΦ6用  
<sup>⑦</sup>階段用支柱ブラケット

2. 支柱の取付

① <sup>⑦</sup>階段用支柱ブラケットに<sup>④</sup>支柱を差し込んでください。  
高さを調整するために、踏板と支柱の間に<sup>⑤①</sup>スペーサーを挟んでください。（目安5mm前後）

外部

内部

<sup>④</sup>支柱側面のΦ4.2サラ穴が、  
階段の内部を向くように  
差し込んでください。

<sup>④</sup>支柱

<sup>④</sup>支柱

<sup>⑤①</sup>スペーサー  
(付属品)

5mm前後

3. 支柱金物の取付

① <sup>④③</sup>支柱金物を手摺のおおよその角度に合わせて角度を調整し、接続部のビスを締めてください。

しっかり締める

①笠木

<sup>③⑤</sup>ホーローセット  
M5×18mm

<sup>④③</sup>支柱金物

△こちらのビスに緩みがあると音鳴りの原因になります。

② <sup>①</sup>笠木に<sup>④③</sup>支柱金物を差し込み、<sup>③⑤</sup>ホーローセットM5×18mmを軽く締め、<sup>④③</sup>支柱金物が滑り落ちないように仮固定してください。

△<sup>④③</sup>支柱金物が<sup>①</sup>笠木の中でその他の部材と干渉しないよう、差し込む向きに注意してください。

③ <sup>④③</sup>支柱金物を<sup>④</sup>支柱に差し込んでください。

4. 支柱の調整

①すべての<sup>④</sup>支柱に<sup>④③</sup>支柱金物を差し込み、<sup>④</sup>支柱と<sup>④③</sup>支柱金物に隙間ができないよう<sup>⑤①</sup>スペーサーを使って<sup>④</sup>支柱の高さを調節してください。

⚠ 段鼻の厚みの中心位置と段鼻をとめるための支柱の穴（Φ5.5とΦ9の貫通穴）が±2.0mm以上ずれない範囲で調節してください。

隙間が開かないようにする

段鼻の厚みの中心位置から上下2mmまでずらすことができます。

段鼻

スペーサーの枚数を調節する

7. 段鼻の固定

① 段鼻にΦ3.5深さ40mmの下穴を開け、<sup>③⑨</sup>AナベタッピングネジΦ5×40mmにて<sup>④</sup>支柱を段鼻に固定してください。  
特に慎重な作業が要求される箇所ですので必ず下穴を開けてから固定するようにしてください。

② 開いた穴に、<sup>①⑥</sup>段鼻穴キャップを差し込み蓋をしてください。

⚠ <sup>①⑥</sup>段鼻穴キャップは、支柱に沿うように丸みを帯びた形状をしています。差し込む際、向きにご注意ください。

①⑥段鼻穴キャップ

縦

③⑨AナベタッピングネジΦ5×40mm

①⑥段鼻穴キャップ

③⑨AナベタッピングネジΦ5×40mm

①⑥段鼻穴キャップ

A

支柱に段鼻穴加工済み

morita

森田アルミ工業株式会社 | 599-0201 大阪府阪南市尾崎町530-1  
TEL 072-480-1400 | <https://www.moritaalumi.co.jp>

更新:202407

8. 中棧の取付

別紙「中棧の取付」を参照の上、中棧を取り付けてください。

9. 支柱の固定

①<sup>⑦⑧</sup>サラドリルネジΦ4×13で<sup>④</sup>支柱を<sup>⑦</sup>支柱ブラケットに固定してください。

⚠ 固定の際に発生する切粉が高温になる場合があります。必ず周囲の養生を行ってから作業してください。

⚠ ドリルネジで支柱ブラケットに穴を開けながら同時に締結します。インパクトドライバーを使用してください。

②<sup>⑤①</sup>スペーサーを外してください。

⑦⑧サラドリルネジΦ4×13mm

⑤①スペーサー（固定後取り外す）

必ず周囲を養生してください

10. 固定チェック

各ビスを増し締めし、ゆるみがないか確認してください。  
笠木内部の<sup>④③</sup>支柱金物から音鳴りがする場合は、「3.支柱金物の取付」の①を参照し、ビスを締めなおしてください。

Copyright © 2024 Morita Aluminium Industry Co., Ltd. All Rights Reserved. | 本説明書は、製品の取付に必要とする情報を提供するためのものです。 | 詳細な取付手順については、別紙の取付図を必ずご確認ください。



# B

支柱に段鼻穴加工なし

Alute

室内手摺【階段用】

取付説明書

## 重要

[B]は支柱に段鼻穴加工がされていない状態で納品されている場合の取付説明書です。支柱に下記の穴加工されている場合は[A]の取付説明書をご覧ください。

穴加工なし  
(現場にて加工)

支柱金物取付用穴  
(出荷前に加工済)

中棧取付用穴  
(出荷前に加工済)

支柱  
④

支柱金物取付用穴  
(出荷前に加工済)

穴加工なし  
(現場にて加工)

御覧いただく取付説明書は、梱包外装に添付されています「出荷案内」の品番からも、ご判別いただけます。

A	B
の説明書を使用	の説明書を使用
ALU10KA-BK	ALU10K-BK
ALU103KA-BK	ALU103K-BK
ALU10PKA-BK	ALU10PK-BK
ALU103PKA-BK	ALU103PK-BK

このたびは、室内用手摺Aluteをお買い上げいただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの取付説明書をよくお読みになり、正しく適切な方法でご使用ください。

※本書はAluteの取付を行う際の基本的な説明書です。  
現場の状況によっては組立方法が変わる場合があります。

### ⚠ 注意事項

#### ■施工上のご注意

- ※外部用手摺として使用しないでください。
- ※吹抜用の手摺は【吹抜用】の説明書をご参照ください。
- ※組み立て部品・ネジは当社指定品を使用してください。
- ※取付は必ず専門業者で行ってください。
- ※アルミの素地などが見える箇所はタッチペンで補修してください。
- ※工程内に、パイプへの穴加工があります。穴加工失敗を防ぐため、オートポンチのご用意をお願いします。



#### ■使用上のご注意

- ※製品の破損やケガの原因となりますので、以下の行為は絶対に行わないでください。
- ・手摺にロープ等をかけて、重いものを運搬する。
- ・手摺以外の用途に使用する。
- ・横桟や手摺の上に乗ったり、身を乗り出したりする。
- ・横桟や手摺にぶらさがる。
- ・当社指定の付属品以外のものを取り付ける。
- ・分解、改造を行う。

### 🔧 必要工具（ご用意願います）

- ・電動ドライバー ・インパクトドライバー ・電動ドリル
- ・オートポンチ ・アルミ用チップソー（部材を切断する場合）

### 🔧 使用するビットとドリル（ご用意願います）

- ・プラスビット 狭い隙間の作業があるため、長いものや、曲がるタイプのものがあると作業がスムーズです。
- ・六角ソケットビット 六角対辺10.0mm
- ・木用ドリル Φ4.2mm Φ3.5mm
- ・金属用ドリル Φ5.0mm Φ9.0mm

### ✓ 使用レンチサイズ（付属しています）

ビス種類		六角レンチサイズ	
極低頭六角穴付きボルト	M4	2mm	
	M5	3mm	
ホーローセット	M4	2mm	
	M5	2.5mm	

# B

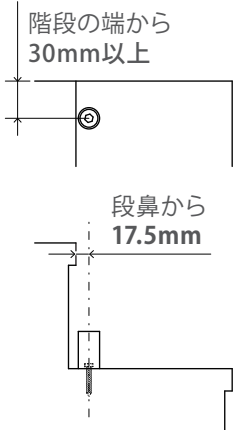
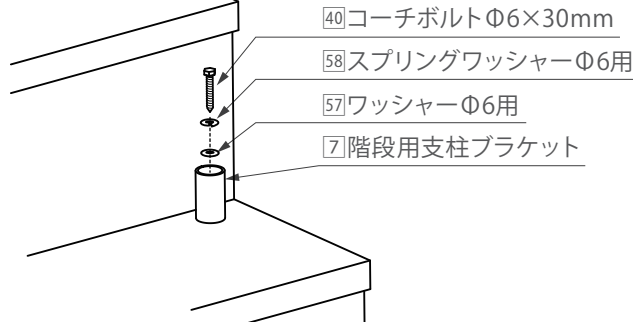
支柱に段鼻穴加工なし



森田アルミ工業株式会社 | 599-0201 大阪府阪南市尾崎町530-1  
TEL 072-480-1400 | <https://www.moritaalumi.co.jp>

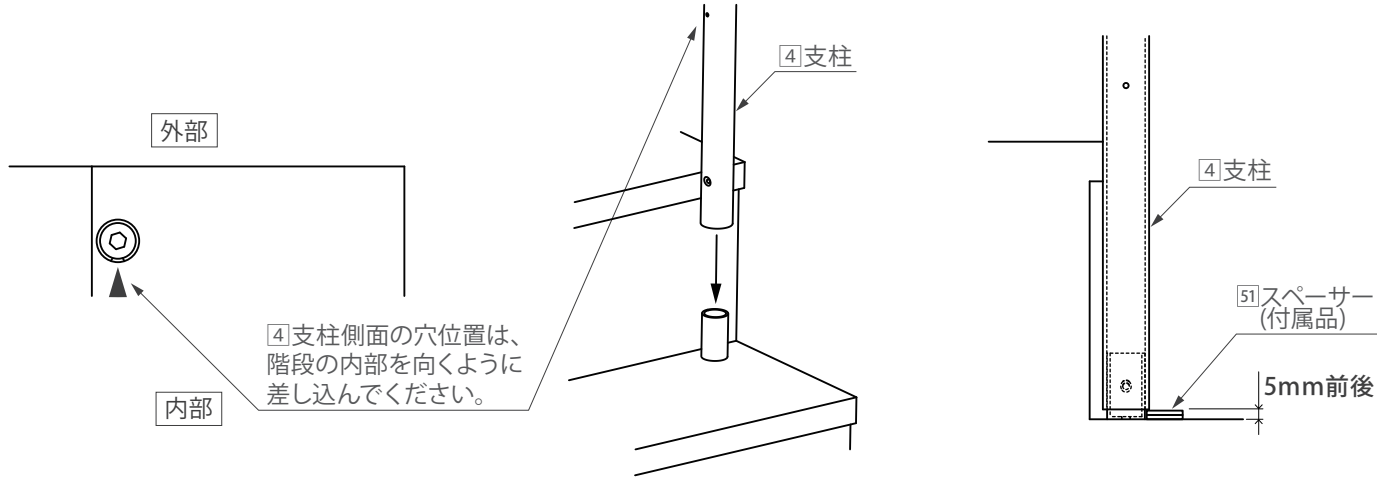
### 1. 支柱ブラケットの取付

- ① 踏み板にΦ4.2×深さ25mmの下穴を開けてください。
- ② <sup>⑦</sup>階段用支柱ブラケットを、<sup>④⑩</sup>コーチボルトΦ6×30mmと<sup>⑤⑦</sup>ワッシャーΦ6用、<sup>⑤⑧</sup>スプリングワッシャーΦ6用で踏板に固定してください。



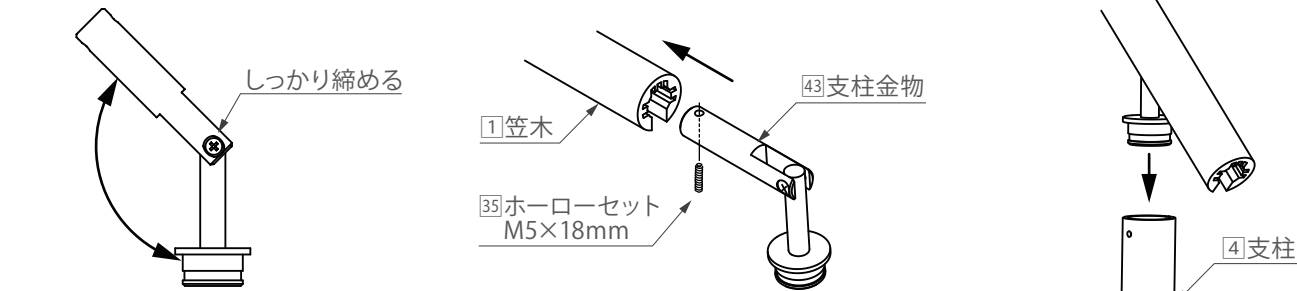
### 2. 仮組み①

- ① <sup>⑦</sup>支柱ブラケットに<sup>④</sup>支柱を差し込み、仮組みします。  
高さを調整するために、踏板と支柱の間に<sup>⑤①</sup>スペーサーを挟んでください。（目安5mm前後）



### 3. 仮組み③

- ① <sup>④③</sup>支柱金物を手摺のおおよその角度に合わせて角度を調整し、接続部のビスを締めてください。
- ② <sup>①</sup>笠木に<sup>④③</sup>支柱金物を差し込み、<sup>③⑤</sup>ホーローセットM5×18mmを軽く締め、<sup>④③</sup>支柱金物が滑り落ちないように仮固定してください。
- ③ <sup>④③</sup>支柱金物を<sup>④</sup>支柱に差し込んでください。



⚠ こちらのビスに緩みがあると音鳴りの原因になります。

⚠ <sup>④③</sup>支柱金物が<sup>①</sup>笠木の中でその他の部材と干渉しないよう、差し込む向きに注意してください。

B

支柱に段鼻穴加工なし

Alute

室内手摺【階段用】

取付説明書

B

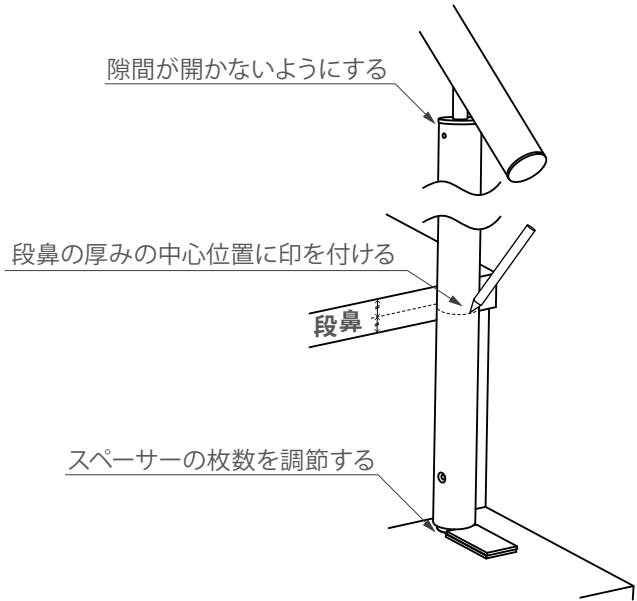
支柱に段鼻穴加工なし



森田アルミ工業株式会社 | 599-0201 大阪府阪南市尾崎町530-1  
TEL 072-480-1400 | <https://www.moritaalumi.co.jp>

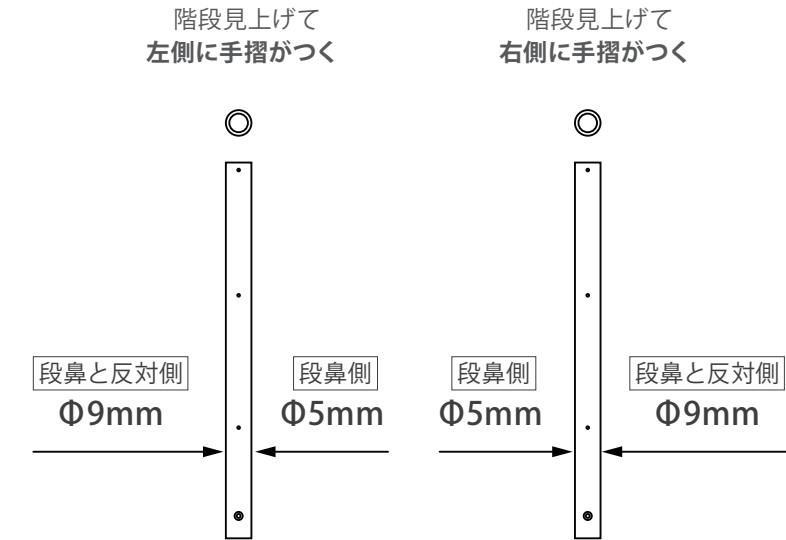
4. 支柱の加工

- ①すべての<sup>④</sup>支柱に<sup>④③</sup>支柱金物を差し込み、  
<sup>④</sup>支柱と<sup>④③</sup>支柱金物に隙間ができないよう<sup>⑤①</sup>スペーサーを使って<sup>④</sup>支柱の高さを調節してください。
- ②段鼻の厚みの中心位置の高さにテープや鉛筆など跡の残らない方法で<sup>④</sup>支柱に印を付けてください。



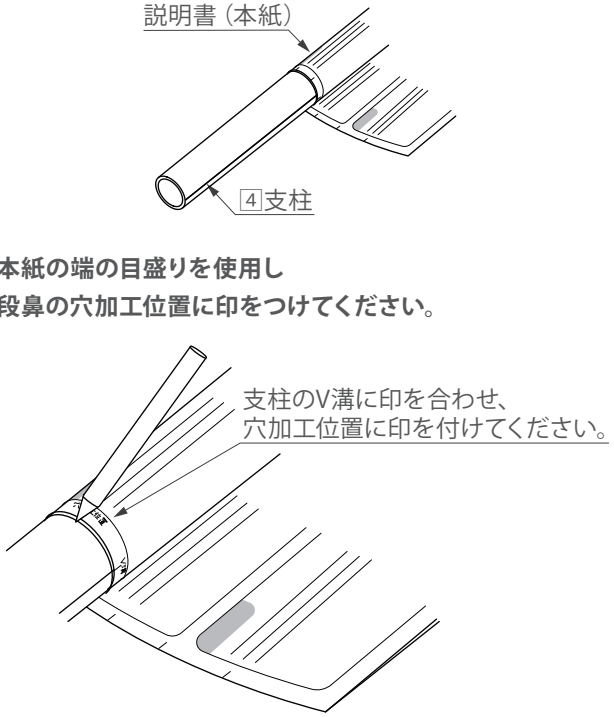
6. 支柱の加工

- ①支柱の印を付けた2箇所<sup>④</sup>に穴をあけてください。  
下図を参照し穴のサイズと向きを間違えないようご注意ください。
- ⚠穴加工失敗を防ぐため、穴加工する前に必ずオートパンチを使ってくぼみを付けてください。
- ⚠加工箇所を付属の<sup>⑦④</sup>アルミ補修ペンを使って、補修してください。



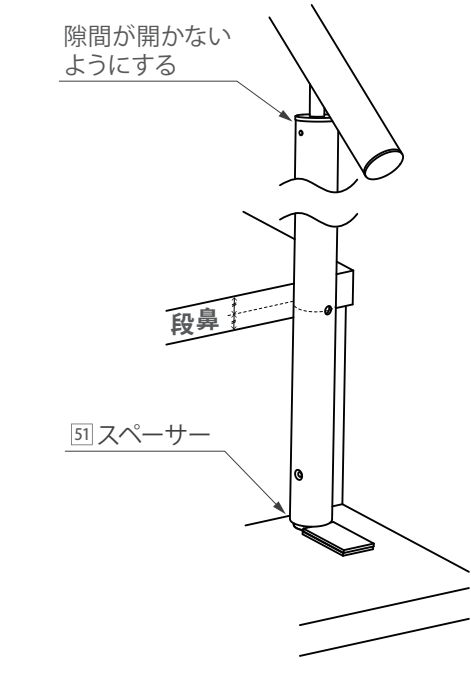
5. 支柱の加工

- ①<sup>①</sup>笠木、<sup>④</sup>支柱を一度外し、  
本誌を目盛り部分が見えるように支柱に巻きつけてください。
- ②本紙の端の目盛りを使用し  
段鼻の穴加工位置に印をつけてください。



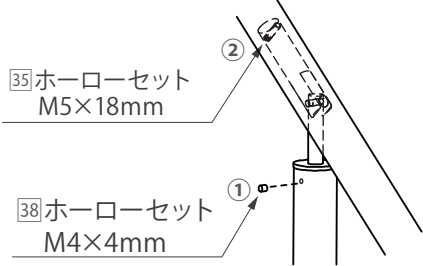
7. 支柱の組立

- ①すべての<sup>④</sup>支柱に<sup>④③</sup>支柱金物を差し込み、  
<sup>④</sup>支柱と<sup>④③</sup>支柱金物に隙間ができないようにしてください。



8. 支柱金物の固定

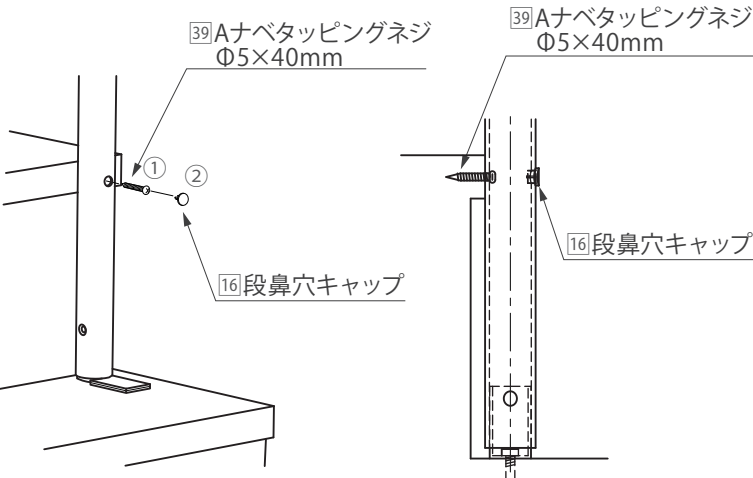
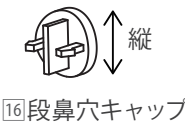
- ①<sup>③⑤</sup>ホーローセットM4×4mmで固定してください。
- ②仮固定していた<sup>④③</sup>支柱金物の<sup>③⑤</sup>ホーローセットM5×18mmを締めて笠木と固定してください。



10. 段鼻の固定

- ①段鼻にΦ3.5深さ40mmの下穴を開け、  
<sup>③⑨</sup>AナベタッピングネジΦ5×40mmにて<sup>④</sup>支柱を段鼻に固定してください。  
特に慎重な作業が要求される箇所ですので必ず下穴を開けてから固定するようにしてください。
- ②開いた穴に、<sup>①⑥</sup>段鼻穴キャップを差し込み蓋をしてください。

- ⚠<sup>①⑥</sup>段鼻穴キャップは、支柱に沿うように丸みを帯びた形状をしています。差し込む際、向きにご注意ください。



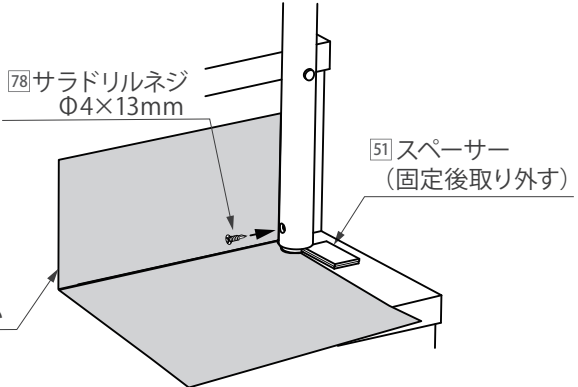
11. 中棧の取付

別紙「中棧の取付」を参照の上、中棧を取り付けてください。

12. 支柱の固定

- ①<sup>⑦⑧</sup>サラドリルネジΦ4×13で<sup>④</sup>支柱を<sup>⑦</sup>支柱ブラケットに固定してください。
- ⚠固定の際に発生する切粉が高温になる場合があります。必ず周囲の養生を行ってから作業してください。
- ⚠ドリルネジで支柱ブラケットに穴を開けながら同時に締結します。インパクトドライバーを使用してください。
- ②<sup>⑤①</sup>スペーサーを外してください。

必ず周囲を養生してください



13. 固定チェック

各ビスを増し締めし、ゆるみがないか確認してください。  
笠木内部の<sup>④③</sup>支柱金物から音鳴りがする場合は、「3.仮組み③」の①を参照し、ビスを締めなおしてください。